

パイプライン利用者の皆様へ

パイプライン

2025 年次報告

— 現状と未来への道筋 —

定められた期限まで、最善の使い方を考えよう。

保存版



ごみ収集パイプライン利用者の会

1. 基本理念—私たちの活動が目指すもの

基本理念

「ゴミ収集パイプライン利用者の会」は、行政だけに頼るのではなく、市民が自分たちの力で街をより良くしたいという強い思いから生まれました。

ごみの集め方やパイプライン設備の老朽化など、私たちの暮らしを支える仕組みにはたくさんの課題があります。これらを解決するには、市民一人ひとりの知恵と行動が欠かせません。さらに、行政と市民が対等なパートナーとして協力し合うことで、より大きな力を発揮できます。本会は、その協力関係を築きながら「安心して住み続けられる街」を実現することを使命としています。



なぜ私たちの活動は必要なのか

昔は行政が決めた方法に市民が従うだけで多くの問題が片づきました。しかし今は、ごみの分別の複雑化や新しいごみ(リチウム電池など)の増加、施設の老朽化、人手不足など課題が山積みです。従来のやり方だけでは追いつかず、市民と行政と一緒に知恵を出し合う「協働」の時代に入りました。さらに、SDGs やカーボンニュートラルなど世界共通の目標が示すように、地域での小さな工夫が地球全体を守る行動につながります。私たちが主体的に関わることで、問題を早く・深く理解し、現場に合った実行可能な解決策を生み出せるのです。

この理念の意味

本会が掲げる理念は、一時的なトラブルを解決するだけでなく、協働による街づくりを当たり前にする文化を根づかせることにあります。市民と行政が互いの強みを認め合うことで、課題への対応速度が上がり、税金の使い方も透明になります。また、若い世代が早い段階から地域活動に参加するきっかけとなり、次世代へ知識と経験が継承されます。その結果、街は年齢や立場の違いを超えて支え合えるコミュニティへと成長し、将来にわたり安心して暮らせる基盤が築かれるのです。

私たちが目指すこと

- 「自分の街は自分でつくる」精神の徹底
- 市民の多様なアイデアと経験の共有
- 行政との信頼関係の構築
- 持続可能で安全なごみインフラの実現

2. パイプラインに今何が起きているのか？

市の条例で支えられるパイプライン。しかし、長年の使用により劣化が進んでいます。

芦屋市条例 第86号議案

- 芦屋浜区域: 廃棄物の収集と運搬に利用されるパイプライン施設は、令和16年から順次代替施設に移設し、令和21年(2039年)3月31日までが使用期限です。
- 南芦屋浜区域: 廃棄物の収集と運搬に利用されるパイプライン施設は、令和31年から順次代替施設に移設し、令和33年(2051年)3月31日までが使用期限です。

パイプライン内部では、長年の使用により大小さまざまな穴や亀裂が生じています。

そこへ、レンガ・陶器・金属などの硬いごみが衝突することで損傷は拡大し、劣化は確実に加速しています。

さらに、雨季や台風時には亀裂部から雨水が侵入し、吸引力が低下します。その結果、ごみの滞留や閉塞が発生し、パイプライン全体が停止するリスクが現実のものとなっています。

こうした状況を放置すれば、復旧に要する時間と費用は増大し、利用者全体に大きな影響を及ぼします。この現実を正しく共有し、定められた期限まで安全かつ合理的に利用し続けるために、2025年版『パイプライン年次報告』を作成しました。

パイプラインの維持は、行政や事業者だけでは成り立ちません。一人ひとりの使い方が、このインフラの寿命を左右します。

本報告書が、現状を直視し、次の行動を考えるための共通の基盤となることを願っています。引き続き、皆様のご理解とご協力を強くお願い申し上げます。どうか引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。



輸送管内部の状態

3. マナー違反ごみ利用者起因トラブル「ゼロ」化運動

マナー違反ごみ投棄でパイプラインが停止または輸送管を傷め、私達利用者が自らパイプラインの寿命を短くしています。2025年度は下記の発生状況がありましたが、2026年度もすでに2件発生しています。その回復のために、無駄な多大なる税金を浪費し、このままでは条例で定められたパイプラインの期限まで維持することは困難な状態となってきています。

2025年度のマナー違反ごみ投棄

発生日	発生場所	マナー違反	写真
4月14日	若葉町7	寝具、衣類、リュック サック、教科書や衣類	
5月6日	高浜町 2番	不明	
11月7日	高浜町 2番	ドライヤーや丸形蛍 光灯器具など	
11月7日	高浜町 4番	タブレット・洗濯物干 しの一部・鞆・紙類・ セロテープの台座	
11月21日	高浜町2番	水栓器具・ビン・鍋・ 皿・水筒・木材・コート ・フライパン・ラジ オ・皿・植木鉢・石・ モップの先端	

4. ほんの少しの気配りで未来を守る

輸送管は、時間が経つと小さな穴やひび割れが発生しています。輸送管は経年で穴やひびがで、新聞紙や雑誌、段ボール、小石、金属類を入れると詰まりや破損の原因になります。詰まりを解決するためにその度に数百万の税金を使っています。最悪の場合、パイプラインが使えなくなることも！
ごみを適切に分別することで、パイプラインを守り、安心できる環境を維持しましょう。

捨てる前に、必ず2秒考えてください。



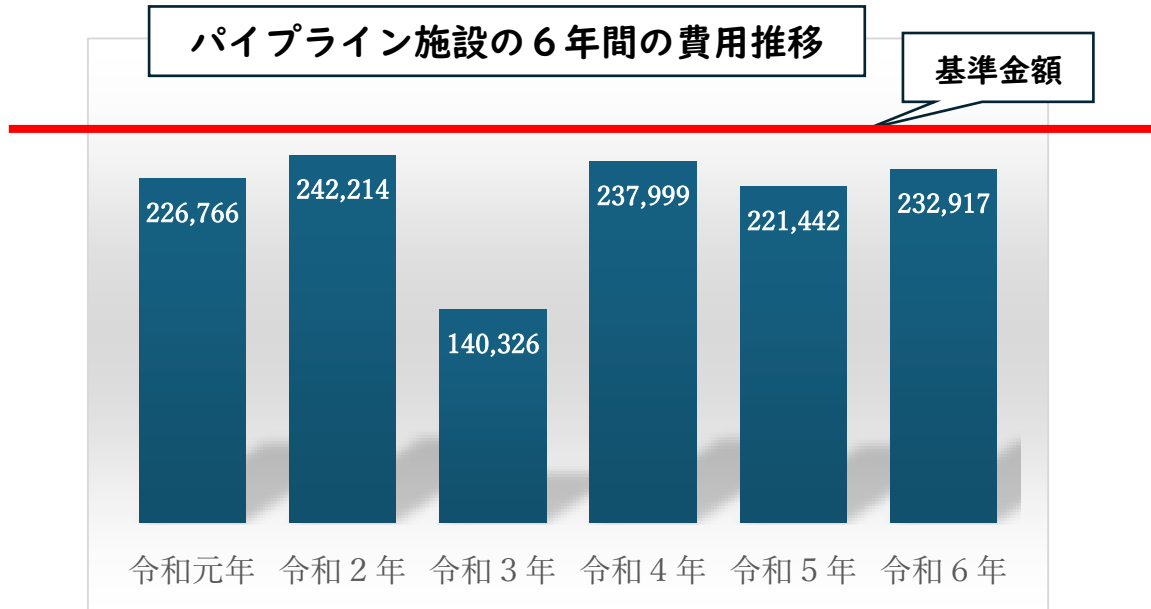
これが廃棄された輸送管内のマナー違反ごみ！



5. パイプライン維持管理費用

パイプラインの維持・管理には約 2 億円ものコストがかかっています。パイプラインを維持・管理するための費用の推移をまとめました。

単位:千円



利用者の会では、年間目標金額の上限を 2 億 6 千万としていますので、現在のところ金額以下となっています。

●詳細(単位:円)

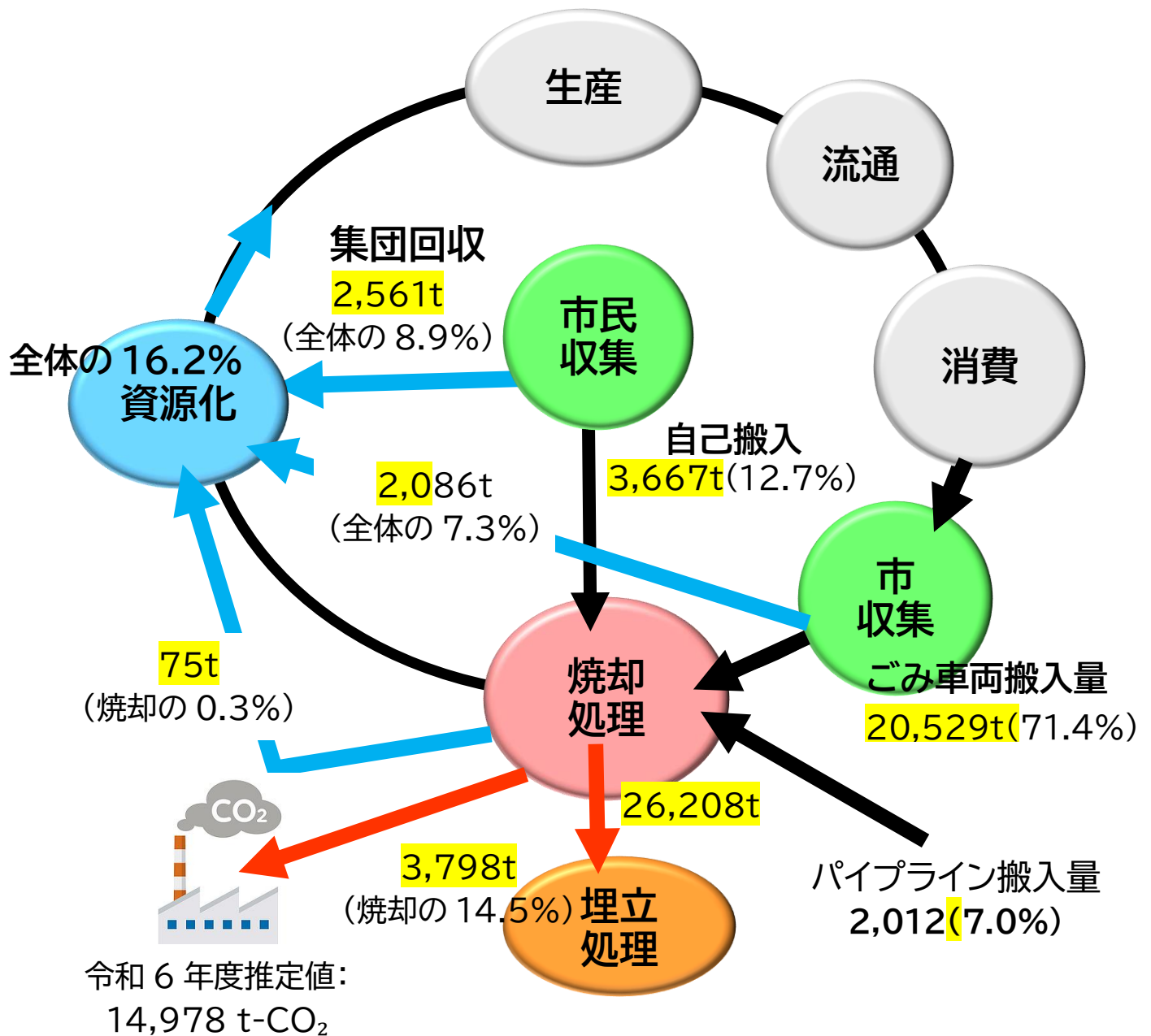
項目	令和 5 年度	令和 6 年度	R6/R5 対比	備考 (R6)
需用費	4,740,560	5,537,620	116.8%	内貼補修材の購入
委託料	108,117,521	118,960,819	110.0%	包括業務費用 (電気代含む)
工事請負費	94,140,800	90,348,500	96.0%	穴あき補修工事、電気設備補修工事
備品購入費	0	1,385,450	-	ごみカート
負担金、補助金及び交付金	120,000	200,000	166.7%	共同溝負担金
補償、補填及び賠償金	0	0	0%	
人件費	14,323,094	16,485,606	115.1%	職員 (給料、共済等)

1. 需用費は、輸送管の内貼補修に使用する補修材の購入量が増えたため、前年度より増加しました。また、委託料は、パイプライン障害に伴う臨時の車両収集の実施回数が増えたことから、増加しています。
2. 備品購入費は、ごみカートなどの備品を新たに購入したため発生しました。あわせて、負担金・補助金及び交付金については、「芦屋浜共同溝付帯設備管理協議会」への毎年の負担金が増額されたことにより、全体として増加しました。

6. ごみは大切な資源です-芦屋市の資源化率

令和6年度のごみ総量は28,769トン(集団回収を含む)で、令和5年度と比べて減少しています。しかし、資源としてリサイクルされた量は、芦屋市で2,161トン、私たちの集団回収で2,561トンの合計4,722トンにとどまり、全体の16.2%にすぎません。この割合は増加していません。

地球温暖化を防ぐためには、限りある資源を大切にし、使ったものをリサイクルして新しいものに生まれ変わらせる社会を目指すことが重要です。みんなで協力し、未来のためにできることを続けていきましょう！



出典:ごみ処理事業概要(令和6年度)

7. 私たちの行動が招くリスク

私たちのマナー違反によるごみ投棄でパイプラインに何らかのトラブルが発生した件数は、2025年4月～2026年1月で20件発生しています。内訳は、摩耗したカギによるトラブルが8件、投入口内部でのごみの引っ掛かりなどで投入口のバケットが開かない・閉じれない等が12件です。

障害状況	件数	状態	対策
カギが回らない	8	陽光町(4回)、新浜町(1回)、高浜町(1回)、若葉町(1回)、浜風町(1回)	カギを途中で抜いているために、合カギで正位置にもどす
バケット(投入口の開閉異常)	12	若葉町(4回)、高浜町(3回)、新浜町(1回)、緑町(2回)、陽光町(1回)、海洋町(1回)	スキーウェア等衣類や新聞紙の束が投入口内部の弁に噛み込みが発生しているために管理会社(TMES)によるごみ除去・清掃

● 「正しい使い方」がトラブルを防ぎます。

1. カギが回らない

カギの摩耗で途中で抜くと次の人がカギ穴にカギを入れることができなくなりますので、新しいカギに交換するか、カギを最後まで回してから抜くようにしましょう。



2. 投入口が閉まらない

ごみが投入口内部で詰まるのを防ぐため、結び目を横にしてゆっくりと投入口に入れてください。バケットが完全に閉まり、前のごみが落ちた音を確認してから次のごみを入れましょう。







8. 現在のパイプライン吸引時間のご案内


2024年11月より、パイプラインの運転(ごみ吸引時間)は以下の運転方法で実施されてます。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



●芦屋浜

曜日	吸引時間帯	吸引内容
月曜～土曜	5:00～6:30	 すべての投入口で吸引
月曜	15:00	 満杯の投入口のみ吸引
土曜	14:30	 すべての投入口で吸引
日曜		パイプライン停止 土曜の吸引で日曜の午前中はごみ投入が可能な場合が多い。

●南芦屋浜

曜日	吸引時間帯	地域
月曜・水曜・金曜	5:00～6:30	南浜町・海洋町
金曜		陽光町
月曜	15:00～	南浜町・海洋町の満杯の投入口
土曜	14:30～	南浜町・海洋町の投入口
日曜		パイプライン停止

●ごみを出すときの大切なルール

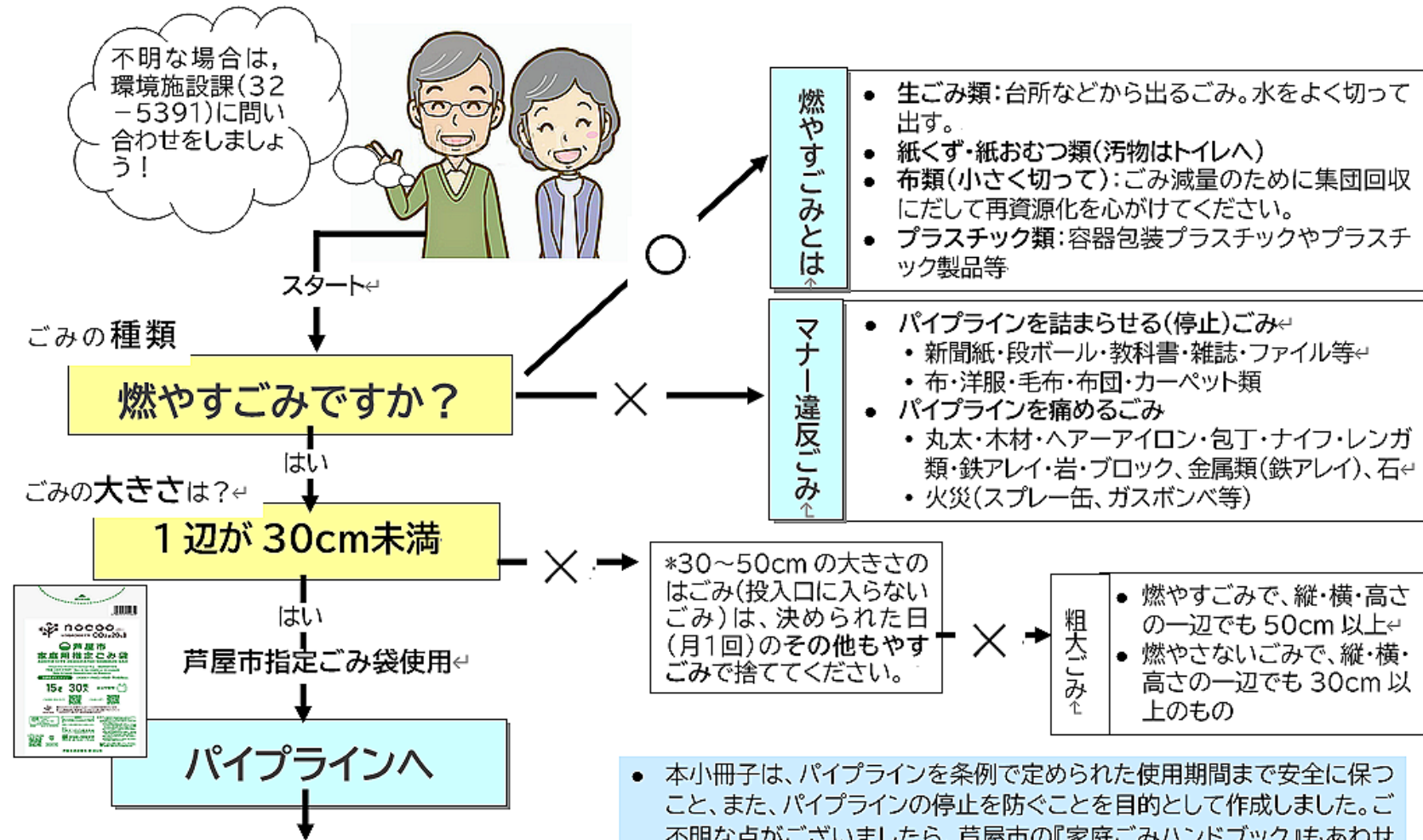
- ごみは、必ず芦屋市指定のごみ袋に入れて捨ててください。
- パイプラインは古くなっています。こわれにくくするため、ごみをできるだけ減らし、正しく使いましょう。
- 指定のごみ袋を使わずに捨てたり、不燃ごみや電化製品を入れることは、絶対にやめてください。
- 赤ランプが点いているときは、ごみを入れずに必ず家に持ち帰ってください。入れてしまうと、カラスがごみを散らかします。



9. 止めるな、快適生活！ パイプラインはマナーが命

パイプラインに捨てることができるごみとは？

(使い続けるために今守るべき、パイプライン使用ルール)



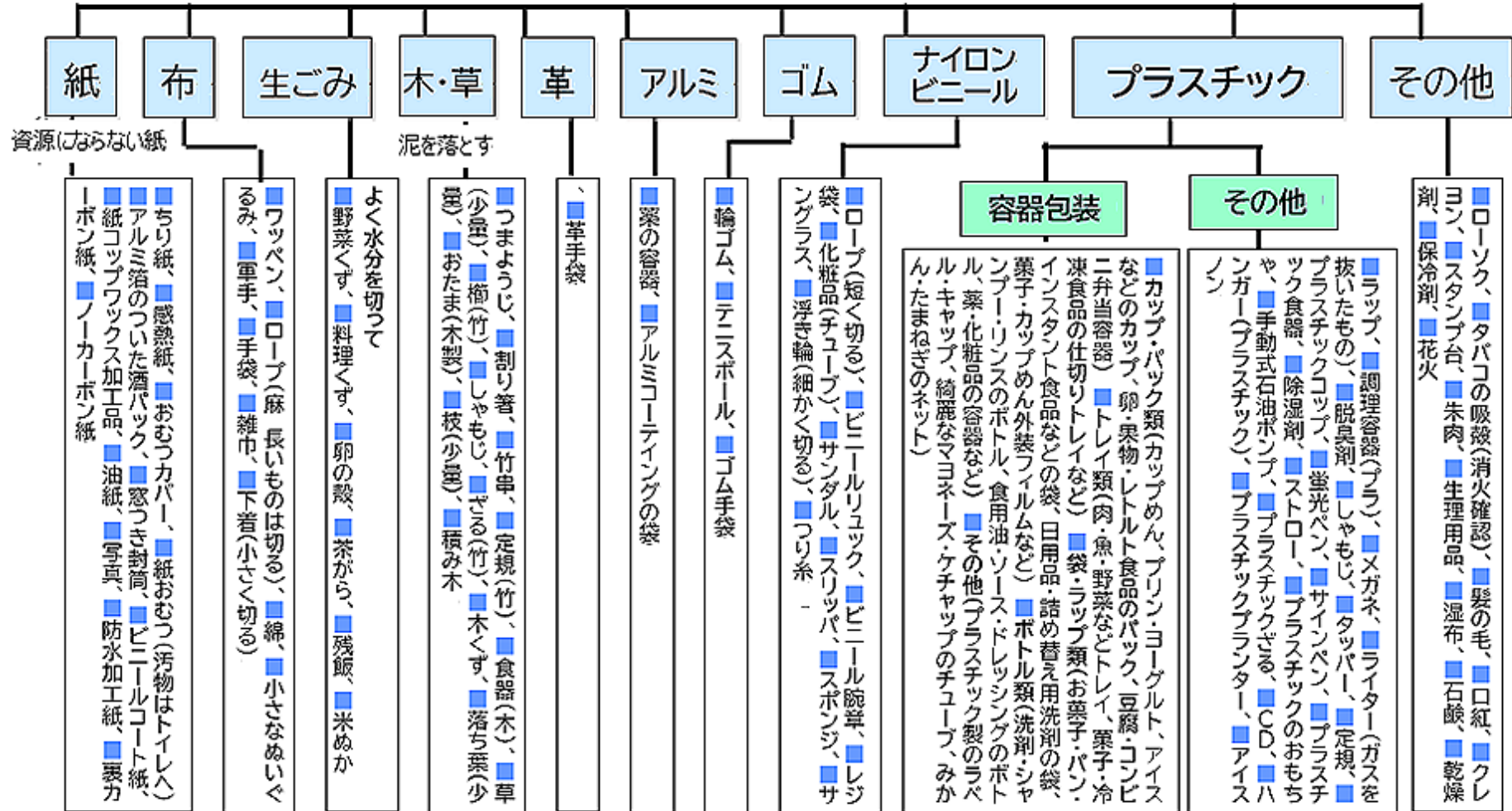
- 本小冊子は、パイプラインを条例で定められた使用期間まで安全に保つこと、また、パイプラインの停止を防ぐことを目的として作成しました。ご不明な点がございましたら、芦屋市の『家庭ごみハンドブック』もあわせてご確認ください。

ゴミ収集パイプライン利用者の会

10. これはOK?ダメ? パイプライン対応ごみ早わかり表

ごみ投棄の無頓着さが、パイプラインの運用停止と輸送管の損傷という深刻な結果を招いています。

(30 cm以下) パイプライン投入口に捨てられるごみ



- 食用油(てんぷら油・食用廃油)は紙などにしみこませるか凝固剤などを使って捨ててください。なお、市役所で廃食油のリサイクルを始めました。
- 紙類は(漫画本、チラシ、ダンボール、単行本、新聞紙、ダイレクトメール、雑誌類、絵本、牛乳パック)は大切な資源ごみですので集団回収に致します。
- 本類・大量の新聞紙・布類・布団や毛布・ダンボールは輸送管を詰まらせます。

11. 代替施設の実証実験(モニター)— 未来への道筋

現在使用しているごみ収集パイプライン施設は老朽化が進んでおり、今後に向けて新しいごみ収集方法を検討する必要があります。そのため、パイプラインに代わる方法について、住宅形態ごとに1つの団体にご協力をお願いし、複数の方式を実際に使って比較する実証実験を行います。

この実証実験は、将来の方向性を考えるための基礎資料を集めることを目的とした試行的な取り組みです。特定の方式を決定するものではありません。



1. 実証実験の目的

本実証実験では、代替となるごみ収集方法について、安全性や日常生活での使いやすさ、運営面での課題を確認するとともに、住宅形態ごとの適合性や問題点を整理し、将来の方針検討に資する客観的なデータを得ることを目的とします。

2. 実施時期・期間

実施時期は2026年の夏から秋にかけてを予定しています。各住宅形態ごとに3種類の代替案を、それぞれ約1か月ずつ使用し、合計約3か月間実施する計画です。具体的な日程は、対象となる管理組合・自治会と調整のうえ決定します。

3. 実証実験の方法(概要)

- 実証実験期間中は、現在のパイプライン運転を停止し、仮設のごみ収集所を設置して代替収集を行います。設置場所は、ごみ収集車が安全に作業できる位置とし、各管理組合・自治会と協議のうえ決定します。
- 収集回数は週3回(月・水・金)を基本とし、ごみを出す時間帯は住宅形態ごとに調整します。
- 実証実験期間中は、決められた場所・方法・ルールに従ってごみを出していただき、安全性や使いやすさ、周辺環境への影響などを確認します。
- 終了後には、アンケートや簡単なヒアリングを実施し、今後の検討資料とします。なお、設置工事は必要最小限とし、生活への影響をできるだけ抑えるとともに、不具合が生じた場合は速やかに関係者で情報共有し対応します。

12. 代替施設の実証実験案— 未来への道筋

なお、写真・イラストは、各方式を示すための参考事例であり、実際の実証実験にあたっては、この通りの姿になるとは限りません。

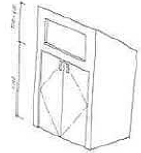


●高層住宅

方式	概要説明	参考写真・イラスト
集合カート方式	700ℓのごみカートを、必要台数設置する方式です。強風時にも動いたり転倒したりしないよう、固定や囲いなどの安全対策が必要です。	
金網ゴミ庫 +カート方式	金網製のごみ庫の中にゴミカートを設置し、その中にゴミを投入する方式です。ゴミの飛散防止に効果がます。	
金網ゴミ庫方式	金網ごみ庫の中に直接ゴミを投入する方式です。(ゴミカートは使用しません)	

●中層住宅

方式	概要説明	参考写真・イラスト
集合カート方式	700ℓのごみカートを、必要台数設置する方式です。強風時にも動いたり転倒したりしないよう、固定や囲いなどの安全対策が必要です。	
金網ゴミ庫 +カート方式	金網製のごみ庫の中にゴミカートを設置し、その中にゴミを投入する方式です。ゴミの飛散防止に効果がます。	
マンション用 折り畳み式 ネットかご方式	使用時のみネットかごを設置し、ゴミ収集後は折り畳んで保管する方式です。	

●タウンハウス ・戸建て住宅

方式	概要説明	参考写真・イラスト
カート収納 ボックス方式	700ℓのごみカートを、専用の金属の収納ボックス内に設置する方式です。風による転倒等を防ぐことができます。	
折り畳み式 ネットかご方式	収集日に合わせてネットかごを設置し、収集後は折り畳んで保管する方式です。	
金属ボックス	金属製の専用ボックスに直接ゴミを投入する方式です。	

13. 危険なごみの処理方法—リチウムイオン電池

リチウムイオン電池 火災発生の元!?

《リチウムイオン電池が使用されている主な製品》



● 正しい出し方

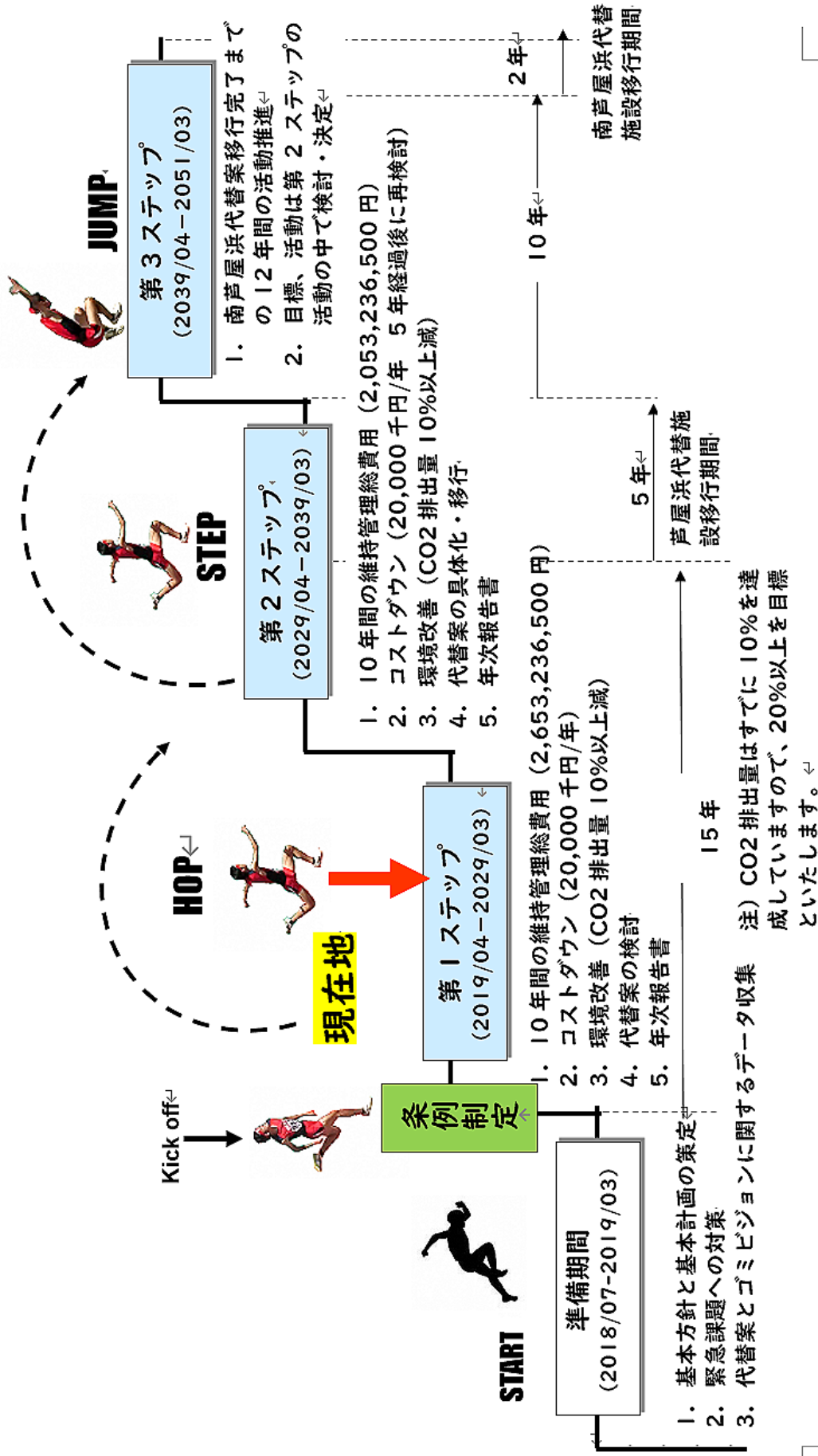
- まず、不要となった家電(リチウムイオン電池を含む)は、販売店等での回収・リサイクルを優先してください。
- やむを得ずごみとして出す場合は、以下の2パターンのどちらかでお出しください。
 - (ア) 家電製品からリチウムイオン電池を取り外す。本体からリチウムイオン電池が取り外せないもの(ハンディファン等)については、取り外し不要です。
 - (イ) 取り外したリチウムイオン電池はセロハンテープなどを貼って絶縁してください。
 - (ウ) 他のごみと混ぜないで、中身の見える透明な袋に入れてください。安全のため他のごみと見分けがつくように、指定ごみ袋とは別の袋が望ましいです。
 - (エ) 「その他燃やさないごみ」の日に他のごみと分けて出します。



3. リチウムイオン電池が膨れているもの

や、液漏れしているもの、環境処理センター(電話:0797-22-2155)へ直接お持ち込みます。また、お持ち込みされる場合は、名前・電話番号、持ち込むものの数や大きさ等の情報を事前に電話にてお知らせください。

14. パイプライン施設の長期計画 パイプライン施設の代替収集へ移行完了までの維持活動プラン



最後まで読んでくれて
ありがとうございました



2026年2月発行

2025 パイプライン年次報告

— 現状と未来への道筋 —

ホームページ: pipelineusers.webnode.jp/